

社会貢献活動・環境保全活動

ミッションステートメントに定める目標「自然や社会とやさしく共存共栄する先進的な企業グループとなる」ことを目指し、私たちは社会貢献活動・環境保全活動に取り組んでいます。2017年のトピックスをご紹介します。

■千代田区より温暖化配慮行動について「優秀賞」を受賞しました

本社のある東京都千代田区では、区内の事業所の温暖化配慮の取り組みを推進するため「千代田区温暖化配慮行動計画書制度」を運用しています。各事業所で取り組んでいる温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を毎年区へ報告させその取り組みを公表すると共に、優良な取り組みを表彰することで事業者の温暖化配慮行動の促進や優良な取り組みの普及を図ろうというものです。

2017年度、「省エネルギー」「環境教育」「地域貢献」の分野でまんべんなく取り組んでいることが評価につながり「優秀賞」を受賞しました。大塚商会の取り組みの一部を紹介します。

●「省エネルギー」への取り組み

リアルタイムの電気使用量を常に表示することで従業員の節電意識向上を推進しています。

●「環境教育」への取り組み

PCを使った独自学習による環境eラーニングを導入し、毎年1回の受講を義務付けています。

●「地域貢献」への取り組み

毎月近隣各社共同で地域清掃活動を行ったり、地元中学生の企業訪問を受け入れ環境教育を実施したりしています。



右：石川千代田区長

■ブラジルでの植林による環境保全活動

2011年の創業50周年記念事業として、ブラジル・アマパ州マカパの150ヘクタールの土地に、紙の原材料となるユーカリの木を植樹し「たのくんの森」と命名しました。毎年この森を拡大し、2017年に500ヘクタールになりました。

初年度に植えた木の伐採も始まり、この資源を利用した「たのめーる」オリジナルのコピー用紙を作成する予定です。



2011年



2016年



2017年(伐採開始)

(※)ユーカリは、適応力が強く6年で成長するため、増大する紙パルプ需要に応える再生可能な資源として期待されています。

■東日本大震災支援

当社では、発生から7年が経過した東日本大震災被災者への支援を継続しています。

- 社員と会社のマッチングギフト制度「大塚商会ハートフル基金」から被災地の支援活動をしている非営利団体6団体に対し、それぞれ50万円を支援。
- 仙台支店が日本赤十字社「私たちは、忘れない。」キャンペーンに参加。
- 被災地の特産品を販売する社内物産展をのべ6回開催。